

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	現代型食生活のための食品成分情報取得強化事業		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成27年度		担当課室	政策課資源室		資源室長 河合亮子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-9 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	日本食品標準成分表 (平成22年11月資源調査分科会報告)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新たに流通してきた食品や品種改良された食品が増加するとともに、高齢者世帯や単身世帯の増加による加工食品等のニーズが増大している。また、食品への栄養表示の義務化が検討されるなど、食品成分に係る情報の重要性が高まっている。このような状態の中、食品成分に関する唯一の公的データである、日本食品標準成分表について、現代型食生活を踏まえた収載食品を追加するなど、食品成分の把握に不可欠な基礎データの充実を図る。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	日本食品標準成分表の収載内容の充実を図るため、近年になって流通してきた食品、既収載食品の加工調理後の食品の一般成分(水分、たんぱく質、脂質、炭水化物、灰分)、無機質(ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム等)、ビタミン(ビタミンA,B,C、葉酸、ビオチン等)脂肪酸(飽和、一価不飽和、多価不飽和)、コレステロール、食物繊維(水溶性、不溶性)の成分値を分析する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	70	70	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	70	70	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	平成27年度までに現代型食生活を踏まえた食品成分分析及び使用者のニーズにそった食品成分データベースの構築を実施の上、日本食品標準成分表を改訂しデータベースとして公表する			%	-	-	-	日本食品成分表の改訂及びデータベースでの公表1式
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	平成25、26年度に350食品の成分分析を実施することとし、そのうち208食品の分析を25年度に行う。			()	-	-	-	208食品の分析
単位当たり コスト	1食品の分析 33万円		算出根拠	平成25年度予算額(うち委託費69百万円)÷208食品				
平成 25 ・ 26 年 度 予 算 内 訳	heise	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	職員旅費	0.4百万円	0.4百万円					
	委員等旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	庁費	0.6百万円	0.6百万円					
	委託費	69百万円	69百万円					
	計	70百万円	70百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本食品成分表は、食品成分に関する唯一の公的データであり、カロリー計算等基礎データとして、広く利用されている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	資源調査分科会において、食品成分に関する唯一の公的データである成分表の改訂の必要性が了承されており、国が実施すべきものである。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札期間を確保し、競争入札を実施している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	競争入札を実施している。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業成果は、広く国民の健康管理に活用されているものであり、事業費の98%は分析に充てることとしている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	食品成分の把握は、分析以外には手段がなく、分析方法については、資源調査分科会等において、合理的かつ正確な分析方法を選択することとしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>文部科学省科学技術・学術審議会報告である日本食品標準成分表は、食品成分に関する唯一の公的データとして国民の健康管理に広く活用されているが、平成17年の改訂から新規の食品分析を行っていないなど、食品成分に関する国民のニーズに対応できていない面があり、次期改訂に向けて計画的に分析を実施していく必要がある。</p> <p>このため、当事業は平成25年度から現代型食生活を踏まえた収載内容とするための分析を行い、その結果をデータベースとして公表するものであり、栄養表示の義務化の動きや世帯構成の変化による食生活の変化を踏まえ、国民が食品成分の情報を取得するうえで必要なものである。</p>					
外部有識者の所見						
<p>本事業は、5月15日に契約を締結し、208食品の分析事業を開始したところであり、効率的なデータ分析を行っていると認められる。現行において特段の見直すべき内容は認められないが、今後とも引き続き効率的・効果的な事業の実施に努めるべきである。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
70百万円

諸謝金 0.1百万円
職員旅費 0.4百万円
委員等旅費 0.2百万円
庁費 0.6百万円
を含む

世帯構成の変化などによる食生活の変化や、
栄養表示の義務化の動きを踏まえて、現代型
食生活に即した食品を追加するなど、日本食
品標準成分表の収載内容の充実を図る。



委託

A.民間企業(1法人)
69百万円

208食品について栄養成分に係る分析を行
う。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

一般財団法人日本食品分析センター

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	208食品の栄養成分分析担当者の人件費	51			
消耗品費等	食品分析に係る試料、試薬の購入	5			
借損料	分析機器の借り上げに係る経費	1			
その他	一般管理費、国内旅費等	12			
計		69	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					